

滋賀いのちの電話

2015年3月 4号

題字：大川匡子理事長

『

』

滋賀県知事 三日月 大造

平成20年の開局、平成21年の法人設立から6周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、日ごろからの相談活動に、ご尽力を賜り、改めて感謝申し上げます。

全国的には、自殺者数の増加に歯止めがかかりつつあり、平成24年には15年ぶりに自殺者数が3万人を下回ったところです。

しかしながら、未だに毎年、2万7千人前後の方が自ら命を絶っているという痛ましい状況は続いています。

また年齢や原因・動機を見ると、50歳前後の自殺者が大きく減少していることに対し、30歳前後では減少傾向が見られないことや、自殺の原因・動機の主要因とされてきた「経済・生活問題」や「健康問題」の割合が低下し、原因・動機が多様化するなど、自殺に関する課題は、複雑化している状況にあります。

そうした中、本県では「滋賀いのちの電話」の皆様方の献身的な活動もあり、平成26年の警察庁自殺統計の速報値では、自殺者数は平成25年比で46人減少し、300人を下回ったところです。これは、対前年自殺者減少率で全国4位の減少率であり、これまでの皆様のご尽力が数字に表れてきたものと考えているところです。

県では、平成25年12月に滋賀県自殺対策基本方針を改定し、(1)社会的な取組で自殺を防ぐ、(2)県民一人ひとりの気づきと見守

りを促す、(3)早期対応の中心的役割を果たす人材(ゲートキーパー)を養成する、(4)こころの健康づくりを進める、(5)適切な精神科医療を受けられるようにする、(6)自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ、(7)遺された人の支援を充実する、(8)民間団体との連



携を強化する、(9)自殺の実態を明らかにする、という9つの具体的な取組を進めることとしています。

自殺対策を推進する上で、関係機関・団体等との連携は不可欠であり、「滋賀いのちの電話」の皆様との連携も、より密にしていきたいと思います。

行政と皆様方の取組が両輪となって、より効果的な自殺対策が展開できるものと考えておりますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、「滋賀いのちの電話」の皆様方の今後のますますのご活躍とご発展をお祈りいたしております。

電話相談員募集(2015年度)予告

電話相談員が心の痛みや悩みを訴えられる方に向き合い、良き相談相手となって活動しています。また、研修などを通して相談員同士の交流もあり、人との出会いやふれあいを通して人生の意義や生き甲斐にも出会えます。

相談員になっていただくための第9期養成講座の受講生を募集します。

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

ボランティアの心が支えるいのちの電話

研修担当のボランティア 奈倉道隆

いのちの電話は62年前、ロンドンで生まれました。みずからいのちを断とうとする人たちを、いのちがけで救いたいとチャド・バラーさんが、「サマリタンズ」とよばれる電話相談を立ち上げました。

共感するボランティアが協力し、世界中に広がりました。日本にも「滋賀いのちの電話」をはじめ49の組織が全国各地にあります。

相談員は1年6か月修練して任務に就きますが、その後もグループで月に1度の研修をし、より充実した相談をめざしておられます。現在は週3日ですが、10時から22時まで交代で電話を守られます。

世相が厳しくなり、絶望する方が増える今日、電話相談の社会的任務は大きくなっています。これは誰にでもできることではなく、自発性豊かなボランティアでないと続けにくい活動です。また、任務が果たしやすい環境を整えるために資金が必要です。個人や団体からの寄付が頼りで、多くの方にご協力をお願いしています。私は相談員でなく、研修のボランティアとして奉仕している者ですが、いのちを護る大切な任務の一端を担う緊張と喜びを感じつつ、相談員と共に歩んでいます。(元京都大学病院老年科医師・介護福祉士)



滋賀いのちの電話 日誌



2014年:	4月5日	6期生認定式
	6月29日	理事会、総会 開催
	7月1-3日	事務局長会議出席 (いのちの電話連盟)
	9月14日	公開講演会 (演者 堀 泰祐氏)
	10月8日	ソニー生命保険株式会社寄付贈呈式参加・講演 (大津プリンスホテル)
	10月12日	第8期相談員養成講座開講
	11月8日	霊友会第8支部依頼の講演実施 (於: 近江八幡 賀茂神社)
	11月13-15日	第32回いのちの電話相談員全国研修会群馬大会参加
	11月24日	全体研修会開催 (草津まちづくりセンター) 講演: 平田真貴子氏
2015年:	1月19日	東海・近畿ブロック会議出席
定期開催:		継続研修: 5月から毎月開催
		8期生養成講座: 10月から月2回開催

～電話相談受信報告～ 期間: 2014年1月から12月

(件数)	通常	FD	通常+FD
男	1934	128	2062
女	2065	125	2190
計	3999	253	4252

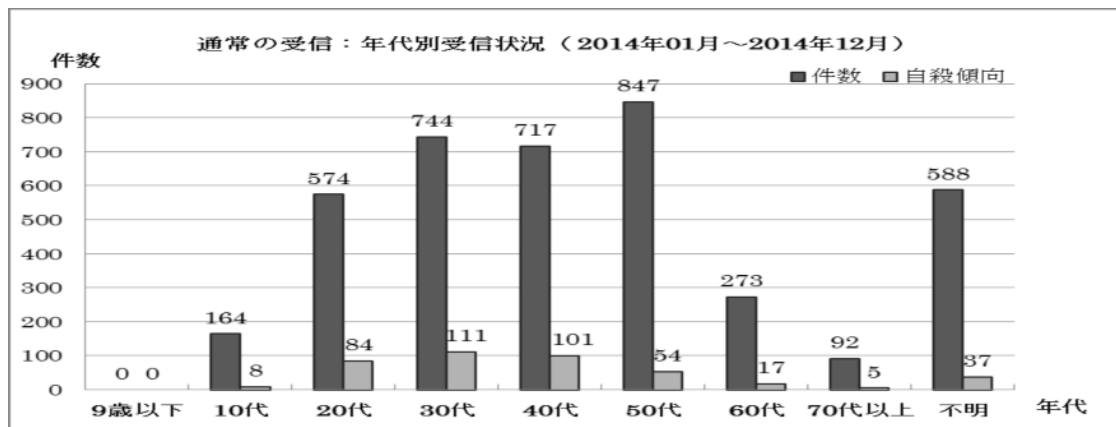


毎週金曜日から日曜日の3日間、各10時から22時の12時間受信した相談電話(通常)は、3999件であった。また、毎月10日の自殺予防いのちの電話(フリーダイヤル; FD)では253件の相談電話があった。男女別の受信では、ほぼ同数であった。

年代別受信について：（通常）

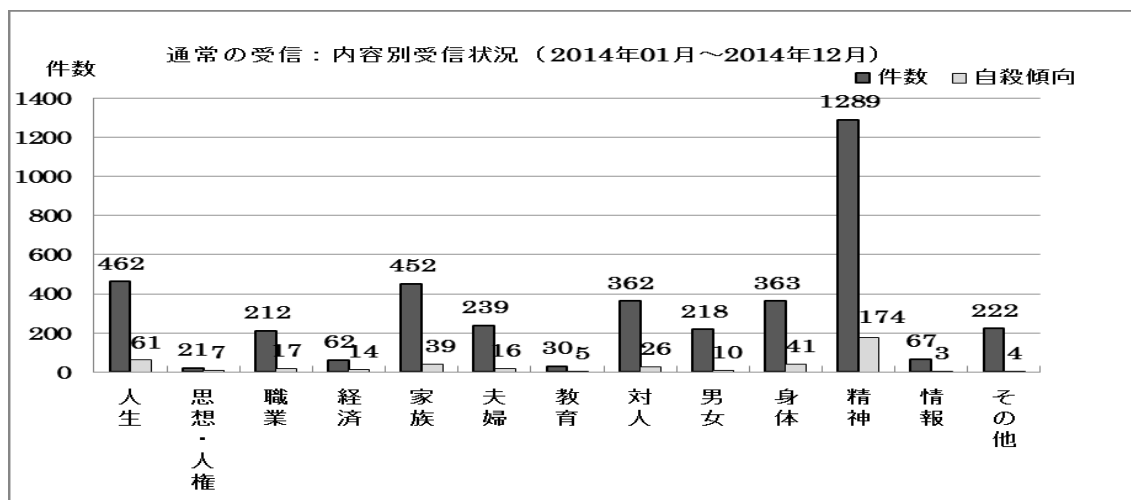
3999 件の相談があった。その内 30 才代から 50 才代が 717～847 件で相談総数の約半数の 58%、20 才代を加えると全体の 72%となり、若年層から中年までの相談が主であった。男女別では、10 才代で男性 138 件、女性 26 件と差があったが、20 才代から 50 才代ではほぼ同数であった。

また、「自殺傾向」は、相談数の 10.4%の 417 件あり、自殺念慮(382 件[男性 136 件、女性 246 件])、危険(14 件[男性 3 件、女性 11 件])、予告通告(20 件[男性 11 件、女性 9 件])及び実行中が 1 件(男性)あった。男女別では女性が 2/3 の割合で多く、266 件であった。

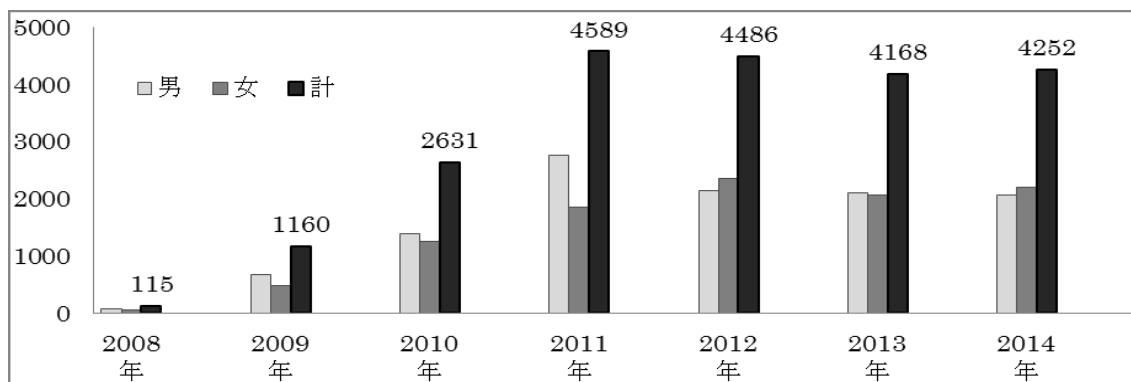


内容別受信について：（通常）

相談数の約 1/3 が「精神」の相談であった。その半数の 620 件が「うつ」で悩む相談で、男性より女性からの相談がやや多かった。また自殺傾向では 174 件あり、その内「うつ」で悩む方は 100 件（男性 38 件、女性 62 件）あった。「人生」の相談は、462 件あり、その約 80%が「生き方・生きがい」（176 件）及び「孤独」（193 件）の相談で、男女別では差はなかった。「家族」の相談は 452 件あり、女性のほうが男性よりやや多かった。内容では「不満」が 153 件あり、その約 80%が女性からであった。また「対人」の相談が 362 件あり、その 157 件が「不和、トラブル」であった。



【2008 年から 2014 年までの各年の総受信件数】



受信曜日・時間の経緯

- ☆ 2008 年 8 月～2009 年 8 月；毎日曜日、12 時から 20 時までの 8 時間
- ☆ 2009 年 9 月～2010 年 8 月；毎金曜日・土曜日 18 時から 22 時の各 4 時間、毎日曜日 14 時から 22 時の 8 時間
- ☆ 2010 年 9 月～現在；毎金曜日・土曜日・日曜日、10 時から 22 時の各 12 時間

感謝報告

2014年にご理解とご支援を頂いた方々

皆様の深いご理解と暖かいご支援に支えられ、研修費、事務費などの運営資金として役立たせていただきました。心から感謝申し上げます。(敬称略、順不同)

正会員 : 奥村千寿子、北島多美子、酒井豊彦、笹川眞知子、鹿田芳子、新納京子、三上房枝、堀川哲夫、安原和重、松岡陽子、平木久代、熊越祐子、中山すみ子、塩田余侍美、荒田寛

個人賛助会員 : (個人として応援してくださっています。感謝です。)

阿部盛雄、石堂美恵子、伊藤吉哉、栗原久枝、福本喜美、藤居敏、鳥飼静代、鳥居静夫、
鎌本龍二郎、原田小夜、小橋寿子、細井俊司、太田廣史、羽野正清、前田優子、山田容、
大橋道伸、引田啓子、谷川八重子、廣瀬童心、新納絵里子、新納麻衣子、井上やよい、
山口和美、草野由紀子、福井直秀、菅原節子、田中遊心、辻貴子、福本洋、辻本哲士、
大熊新一、安原昌和、川越清司、柴田恵子、田中清行、

団体賛助会員 : (法人として応援してくださっています。感謝です。)

(株)ヤマジ滋賀営業所、滋賀県薬剤師会、

(有)フクチ薬局代表福地一雄、井上自動車代表井上宗和、

寄付 : (ご厚意に本当に感謝いたします。)

柴原恵子、村田ゆき子、辻本哲士、北里・八幡学区、奈倉道隆、三木俊彦・美和、山田容、
江崎和子、伊藤美千代、宮本美佐江、石橋美年子、三上房枝、平田眞貴子、山口浩次、奥村
千寿子、塩田余侍美、中山すみ子、新納京子、MDRT ソニー会、霊友会第8支部

今後とも変わらぬご理解、ご支援をお願い申し上げます。なお、記載漏れ、誤字などがございました場合、お手数ですが、事務局までご一報くだされば幸いに存じます。



資金ボランティア大募集

電話相談活動を資金面から支えて頂くボランティアです。「いのちの電話」を継続して運営していくためには、相談員のための研修、広報や事務費などに多くの資金が必要です。今、資金が足りません。一人でも多くの方のご理解、ご支援をお願いします。

○個人賛助会員：資金面から支えてくださる個人； 1口 3千円 (口数は自由、年間)

○団体賛助会員：資金面から支えてくださる法人； 1口 3千円 (口数は自由、年間)

○寄付：匿名希望などで資金を提供して下さる個人または法人。

金額を問いません。

◎振込先 特定非営利活動法人 滋賀いのちの電話

☆滋賀銀行 瀬田駅前支店 普通預金 番号：251748

☆郵便振替 00940-8-300160

振込用紙のご請求などのお問い合わせは、事務局までお願いします。



編集後記

昨年の自殺者数が25,000人台と前年より1,900人以上減りました。しかし、まだまだ毎日69の方が亡くなっています。

滋賀いのちの電話の相談員は少しでも自ら命を絶つ人が少なくなる事を願い活動しています。心暖かい人達が相談室に集っています、感謝です。(堀川記)

発行 特定非営利活動法人

滋賀いのちの電話 事務局

〒525-8799

草津郵便局私書箱第10号

電話・FAX：077-552-1281

メール：sind@gaia.eonet.ne.jp

<http://www.shiga-inotino-denwa.org/>

